

## ■ ご挨拶

自動車や鉄道は、世界各国において経済活動や国民生活を支える重要な役割を担っています。安全・安心で環境に優しい交通社会を実現するため、交通事故の削減や地球環境の保全について、より一層取り組む必要があります。さらに、少子高齢化・労働力不足の進行や地域公共交通の厳しい経営環境に対応するため、自動運転の実現、生産性の向上、インフラ保守の効率化等にも取り組む必要があります。

また、日本企業は、自動車や鉄道といった製品を、日本から世界各国に輸出するのみならず、海外において生産しているため、日本企業の国際競争力を確保する観点から、自動車及び鉄道に関する基準・規格の国際化も重要となっています。

交通安全環境研究所は、これらの社会的課題の解決に向け、自動車及び鉄道に関する基準・規格の策定のための研究、さらに、自動車の型式指定等に関する審査、リコールに関する技術的検証、鉄道製品に関する国際規格の認証業務などを実施しています。

本年の交通安全環境研究所フォーラムは、「時代の変革に伴う新技術導入と国際化に向けた貢献」をテーマに掲げ、それぞれの分野における取組について講演させていただきます。

具体的には、自動車分野では、自動運転に代表される新技術導入にあたっての研究や、国際会議において議長職として貢献した内容等を紹介いたします。鉄道分野については、衛星測位や障害物検知センサといった新技術に関する研究や国際化のため必要な鉄道製品認証のスキームについて紹介いたします。併せて、最新の研究成果等についてポスターセッションで幅広く紹介いたします。

本年のフォーラムは、新型コロナウイルスによる感染の影響から、残念ながらオンラインによる開催とさせていただきますが、ご参加いただく皆様から忌憚のないご意見をいただくことにより、交通安全環境研究所の活動をさらに充実・発展させ、社会的な期待と信頼に応えていく所存でございます。

専門家の方から交通社会に関心のある方々まで、幅広い方々の多数のご視聴を心よりお待ちしております。

令和2年10月  
独立行政法人 自動車技術総合機構  
交通安全環境研究所長 平井 隆志

## ■ オンライン開催について

ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

今般の新型コロナウイルス感染拡大を受けて、50周年記念講演会、フォーラム2020については感染拡大防止を目的として、オンライン開催にて実施いたします。WEBシステムはZoomのミーティングシステムを使用します。参加費は無料ですが、事前のご登録をお願いいたします。視聴方法については、以下をご覧ください。

**視聴方法** お申込みいただいたメールアドレスあてに後日、ZoomのURLを送付いたします。当日は指定のURLよりアクセスしますとご視聴いただけます。なお、配信は、定刻の10分前頃より開始する予定です。事前にアクセスいただき、映像や音声が入るかのチェックをお願いいたします。

**事前準備について** 事前に「Zoom」のご準備(ダウンロードとアカウント登録)が必要です。(無料)過去に他のセミナー等でZoomを利用したことがある場合は、そのままURLからアクセスください。

### 【Step1】 アカウントを取得する

・PCで参加の場合  
下記URLにアクセスし、サインアップ(アカウント登録)後お使いのPCにZoomをダウンロードしてください。  
<https://zoom.us/signup>

・スマートフォンで参加の場合→お使いのスマートフォンにZoomアプリをインストールし、サインアップを行ってください。  
iPhone:<https://apps.apple.com/jp/app/zoom-cloud-meetings/id546505307>  
Android:<https://play.google.com/store/apps/details?id=us.zoom.videomeetings&hl=ja>

### 【Step2】 マイクのチェック

※参加中は、自分側のマイクはミュートにしてください。 ※カメラの接続は必要ありません。

**お願い**

- ビデオ・写真レコーダ等による撮影および録音はご遠慮ください。
- ご視聴の際には、アンケートへのご協力をお願いいたします。

**お申込方法** 事前登録は右記ホームページよりご確認ください。 <https://www.ntscl.go.jp>



お問い合わせ先

独立行政法人 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 企画部技術コーディネーター  
〒182-0012 東京都調布市深大寺東町7丁目42番地27  
電話: 0422-41-3207(平日9時~17時) FAX: 0422-41-3233 E-mail: forum20@ntscl.go.jp

NTSEL  
50TH  
Anniversary  
1970-2020



オンライン開催

参加費  
無料

事前登録制

独立行政法人 自動車技術総合機構  
交通安全環境研究所

# フォーラム2020

時代の変革に伴う新技術導入と国際化に向けた貢献

日時 11月19日 木  
2020年

10:00~17:00

登録締切  
11/17(火) 17時まで

交通安全環境研究所  
National Traffic Safety and Environment Laboratory

10:00~10:05	開会の挨拶	交通安全環境研究所長 平井 隆志
10:05~10:15	交通システム研究部における研究の概要と方向性	交通システム研究部長 佐藤 安弘
10:15~10:40	講演1 衛星測位による列車位置検知の地上の定点を基準とする測位精度評価手法の検討	主任研究員 山口 大助
10:40~11:05	講演2 障害物検知センサを活用した鉄軌道における衝突事故防止に関する取組	主席研究員 竹内 俊裕
11:05~11:15	鉄道認証室における最近の活動概要	鉄道認証室長 黒川 和浩
11:15~11:40	講演3 スキームオーナーとしての鉄道認証室	研究員 森 裕貴
11:40~13:00	昼休み(ポスターセッション)	
13:00~13:25	世界初の自動運転に関する国際基準策定への貢献	審議役(リコール技術検証部長兼務) 斧田 孝夫
13:25~13:35	自動車安全研究部における研究の概要と方向性	自動車安全研究部長 河合 英直
13:35~14:00	講演4 自動車線維持装置(Automated Lane Keeping System)の国連新規則における機能要件について	主席研究員 児島 亨
14:00~14:25	講演5 運転支援のための路面描画ライトに関する研究	研究員 加藤 洋子
14:25~14:40	休憩	
14:40~14:50	環境研究部における研究の概要と方向性	環境研究部長 坂本 一朗
14:50~15:15	講演6 2030年度燃費基準とオフサイクル技術の評価について	上席研究員 鈴木 央一
15:15~15:20	閉会の挨拶	理事 石井 素
15:20~17:00	ポスターセッション	

1	地域特性に応じた公共交通システムの導入効果評価について 交通システム研究部 *工藤 希、大野 寛之
2	列車運転支援情報伝達の妨害対策に関する検討 交通システム研究部 *林田 守正、工藤 希、竹内 俊裕、大野 寛之、水間 毅(東京大学)
3	NOxセンサを用いた重量車排出ガス計測システムにおけるNOx濃度測定等の高精度化に関する検討 環境研究部 *山本 敏朗、鈴木 央一、柴崎 勇一
4	車載型PN計測装置の計測原理の違いが評価結果に与える影響 環境研究部 *志村 渉、奥井 伸宜
5	使用過程ハイブリッド自動車のバッテリー及び燃費性能変化 —リチウムイオン電池搭載車両を試験対象として— 環境研究部 *小鹿 健一郎、鈴木 央一
6	重量車の電費等試験法検討会における議論の概要 環境研究部 *柴崎 勇一、新国 哲也
7	産学官連携による高効率次世代大型車両開発促進事業の概要 環境研究部 *鈴木 央一、奥井 伸宜、山本 敏朗、柴崎 勇一、坂本 一郎
8	ヘッドランプの汚れとクリーナーによる夜間運転視界の変化 自動車安全研究部 *青木 義郎、佐藤 誠晃(小糸製作所)、市川 靖洋(小糸製作所)、阪井 健(小糸製作所)、田中 博(小糸製作所)
9	後付け式踏み間違い時加速抑制装置に関する基本調査 自動車安全研究部 *関根 道昭、伊藤 紳一郎、岩瀬 常利、廣渡 太一
10	大型バス座席のシートバック角度が衝突時の乗員の安全性に及ぼす影響調査 自動車安全研究部 *田中 良知、細川 成之、松井 靖浩
11	衝突被害軽減ブレーキ作動時の乗員挙動が衝突時の乗員傷害に及ぼす影響調査 自動車安全研究部 *細川 成之、田中 良知、松井 靖浩
12	大型車の車両衝突速度と自転車乗員傷害との関係からみた衝突被害軽減ブレーキの効果予測に関する研究 自動車安全研究部 *松井 靖浩、及川 昌子(東京都立大学)
13	自動運転車の社会受容性に関する研究 -事故判例の分析から- 自動車安全研究部 *中川 正夫
14	標準ドライバモデルと小型可搬型運転ロボット適用による将来の燃費・排出ガス評価手法への対応について 環境研究部 *奥井 伸宜
講演1	衛星測位による列車位置検知の地上の定点を基準とする測位精度評価手法の検討 交通システム研究部 *山口 大助、工藤 希、竹内 俊裕、長谷川 智紀
講演2	障害物検知センサを活用した鉄軌道における衝突事故防止に関する取組 交通システム研究部 *竹内 俊裕、長谷川 智紀、山口 大助
講演3	スキームオーナーとしての鉄道認証室 鉄道認証室 *森 裕貴、千島 美智男、長谷川 智紀
講演4	自動車線維持装置(Automated Lane Keeping System)の国連新規則における機能要件について 自動車安全研究部 *児島 亨、浦手 耕二
講演5	運転支援のための路面描画ライトに関する研究 自動車安全研究部 *加藤 洋子、青木 義郎、関根 道昭
講演6	2030年度燃費基準とオフサイクル技術の評価について 環境研究部 *鈴木 央一、志村 渉

\*講演内容・講演者は変更になる場合があります。予めご了承ください。

\*マークは、筆頭発表者です。